

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 5

2012 No.692

## 3 はじめの言葉

### 4 量だけは潤沢だが

#### 決定的な情報能力の不足

田原文夫

情報システムテクノロジーを通じて凄まじい情報が飛び交う時代だが、そこで送受信される情報の処理能力が改めて問われている。情報能力と言い換えてもいいだろうが、政府という国家機関レベルでも、国民レベルでも、そして情報処理の最先端で機能すべきマスコミレベルにおいても様々問われている。要するに、情報社会にあつて、潤沢な情報に接する機会だけには恵まれていながら、情報を使いこなせない、使いこなす能力が欠落しているのだ。例えば、先の北朝鮮によるミサイル発射実験に関わる情報収集能力についてである。国防に責任を持つ国防省自衛隊の発射確認／情報分析能力、政府の確認作業など、いずれをとっても、啞然とする状況だった。地震情報、災害情報の収集／伝達能力についても然りである。民間企業レベルにおける情報能力にだって問題だらけである。最近とみに活発になってきている中国による尖閣列島沖での展開、牽制的な動きに対しても、国防的情報能力が問われている。沖縄など周辺地域の国民の意識レベルも、駐留アメリカ軍の基地問題にだけ特出して取り上げられているが、肝心の国防的な観点での情報能力が欠落してしまっている。輪をかけて看過できないのは、日本国籍／日本国民の存在を忘れてしまったようなマスコミ報道機関における情報能力のお粗末さである。

### 1 1 情報社会を考える その 20

#### 情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

古くて新しい問題だが、システム開発における上流工程の作業能力のお粗末さが問題になっている。特に不安になるのは、業界ベンダーの力不足が目立って実感できることだ。猫も杓子も「クラウドコンピューティングサービス」の標榜で一見賑やかだが、とてもではないが、業界業者の用意したものでユーザー企業の要求が満たされるわけがない。改めてベンダー企業のシステム開発力が注目されるのだが、配慮されていて当たり前のことができないベンダー企業の正体が表面化している。

### 1 4 日本再生／世界競争力回復のカギ

#### 何故 M-BIM構築が必要か その 15

水田 浩

2012.4.20 の日経のニュースによると、東日本大震災の復興関連工事が急増している被災地で、道路や橋などの工事発注に必要な費用の見積もりが追いつかないケースが相次い

でいる。公共事業縮小で、国や自治体では土木工事の専門家の技術系職員が減少、そこに震災が発生、技術系職員が不足する事態になり、休日返上の自治体もある。掘削から仕上げまで細分化された費用の一つ一つを拾い出し、数十項目の数字を積み上げて計算する積算作業だけでも、一つの工事でおよそ半日がかりになるのが現在のプロセスである。国交省の建設 CALS は従来のプロセスはそのままにして、入札と納品の文書のみをデジタル化したもので、過去の工事の落札額、入札に参加した他企業の応札額、工事の規模や条件などをデータベース化して行う発注仕様の簡略化にはなっていない。この建設 CALS はプロセスを抜本的に替えるシステムである BIM を導入する非常に良い機会である。

## 19 連載 アーキテクチャ論 (13)

### 情報連携アーキテクチャ分析技法

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

組織に対して、これまでに多様な情報システムが提供されているが、必ずしも情報が連携されていないという問題があった。現状では、研究活動を可視化するために必要な情報サービスが部分的に個別の情報システムとして構築されているため、それぞれの情報システムが変更されたり、新たに追加されるたびにその都度、連携手順を再構成する必要があったり、組織の業務活動情報を結合するための作業が特定の組織の中で人手による運用で実行されていて組織全体では利用できていないなどの問題があった。

この問題の原因は、組織における業務活動情報が異なる情報システムの中で断片的に管理されており、本来は、構成員の業務活動として一貫性があるにも関わらず、それぞれの情報システムに一度蓄積されてしまった情報を統合的に再結合できないことにある。

このため、持続的な情報連携サービスを構築するための方法論の研究を進めている。今回はアクター層（人間による情報連携）、コミュニケーション層（C型情報システムによる情報連携）、オペレーション層（O型情報システムによる情報連携）からなる3階層情報連携アーキテクチャを紹介した。

本稿では、複数のシステム間における情報連携を容易化することが、個別システムの機能を越えた非機能要求であることに着目して、非機能要求シナリオに基づくアーキテクチャ分析手法を紹介する。次いでこの手法を情報連携性に適用することにより、情報連携アーキテクチャを分析する方法を説明する。

なお、本稿の内容は、筆者による「持続的な情報連携サービス分析方法論」[1]の第5章に基づいている。

## 27 先駆企業のガイドラインから学ぶ

### SNS 活用ポリシーの策定と実践

aism

SNS を利用したネットコミュニティ作り検証の第二弾として、先駆者のひとつである IBM 社の SNS 利用ガイドラインを参考にセキュリティ対策、リスク回避の方向性を言及してみた。一方、実際に SNS 活用をベースとしたネットワークコミュニティで商品の販売促進行動を起こしている企業の事例についても、そのあり方を含めて検証してみた。昨今のアウトソーシング時代にあって、ここでもアウトソーシング依存のトレンドがあるようだが、果たして派生リスクの心配は・・・。

### 3 2 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ Dr.ベスト 第8回 第三の創業としてのリストラクチャリング (3)

1970年代のオイルショック後、1980年代は「激動の時代」と予測されたが、実は、「ジャパンアズNo1= No1としてのニッポン」という、今にして思えば黄金期だった。その黄金の夢が一気に醒めたのが、1991年のバブル崩壊という悪夢からの出発だった。そしてそれは、さらに厳しい姿勢で日本全体の産業界のリストラクチャリングに挑戦する時代の幕開きだった。まさに温故知新である。新興国にはない一企業の枠を超えたリストラクチャリングの歴史をひもといてみよう。鉄鋼、造船、エンジニアリング、自動車、電気・電子業界の動向を追いながら、これからの日本再生に向けて踏み込んだ展望をしてみたい。

### 3 8 IT新時代とパラダイム・シフト

#### 第32回 地域活性化とアニメの聖地巡礼 根本忠明

若者の間でブームになっているアニメの「聖地巡礼」。アニメの主人公あるいは活躍の場所が聖地と見なされ、多くの若者が訪れる社会現象になっている。この聖地は全国400ヶ所にも及ぶ。この裏には、これまでのメディアミックスだけでなく、ウェブ2.0による双方向コミュニケーション効果が働いている。全国の不況に苦しむ地方自治体は、聖地巡礼を「町おこし」の起爆剤と捉え様々な取り組みを始めている。ご当地現象への便乗ともいえなくもないが、若者のパワーを地域活性化に結び付ける取り組みが、大切であることに変わりない。今回は注目のアニメ「聖地巡礼」事情とメディアミックスとの関係について報告する。

### 4 2 続インテリジェンスへのいざない 28

#### 人間の喜怒哀楽こそが

#### 脅威／機会の判別をするセンサー 今井 武

人間は喜怒哀楽を感じる生き物である。人は意識するかしないかは別にして喜怒哀楽の感性をベースに情報管理をしている。一時の気分や機嫌で情報分析をしているという意味ではない。同じ事実データであっても、受け手の立場によって、喜怒哀楽の感情は真逆／正反対となる。ある事実データが、ある者には好機をもたらし、ある者には脅威をもたらすからだ。インテリジェンス活動は、好機／脅威を感じ取る喜怒哀楽のセンスが出发点である。

### 4 5 一味違うウェブ検索

#### 第二十二話 画像検索を利用したネタ探し ぐうのうえぶへい

これまではキーワードを中心にしたネタ探しの方法についていろいろ紹介してきた。今回は、画像検索を利用したネタ探しを紹介する。世界はこれまでに見たこともない意外な画像で満ち溢れている。日本では気がつかなかった当たり前の風景が、海外では新鮮に映る。これを手掛かりに、面白いネタをみつけて欲しい。

### 4 8 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリニティ 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティ・マシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの対応体系の構築計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300)  
A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300)  
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)